

※今日の話題も突然ですが、僕の前任校である原山台中でお世話になった苦広先生という方が、発行されていた学年通信「きみの心に」からを紹介しておきます。

明日は12月8日ですが、是非読んでください。＜裏面も参照＞

イ マ ジ ン

天国なんか無いと思ってごらん
 その気になればたやすいこと
 ぼくたちの足元に地獄はなく
 頭上にあるのは空だけ
 みんなが
 今日のために生きていると思ってごらん

国なんか無いと思ってごらん
 むずかしいことじゃない
 殺しあいのもともなくなり
 宗教もなくなり
 みんなが
 平和な人生を送っていると思ってごらん

財産なんか無いと思ってごらん
 君にできるかな
 欲張りや飢えの必要もなく
 人間はみな兄弟
 みんなが
 全世界を分かち合っていると思ってごらん

人はぼくを空想家だと言うかもしれない
 けれどもそれはぼく一人じゃない
 いつの日か君たちもぼくたちの仲間になって
 世界が一つになったらいいと思う

ジョン＝レノン

1960年代に世界的人気を得たビートルズのリーダー。ポール・マッカートニーと「レノン＝マッカートニー」としてソングライティングチームを組み、大半の楽曲を製作した。

1970年のビートルズ解散後はアメリカを主な活動拠点とし、ソロとして、また妻で芸術家のオノ・ヨーコと共に平和運動家としても活動した。

1975年から約5年間音楽活動を休止した後、1980年12月8日23時頃（米国東部時間）にニューヨークの自宅アパート「ダコタ・ハウス」前においてファンを名乗る男性により射殺された。

きみの心に 20年近く前の文章です・・・

●左の歌は「イマジン」と言って、ビートルズのジョン・レノン作です。とても素晴らしい詩で、ぼく（苦広先生です）はうまく歌えませんが、好きな歌です。みんなは、ビートルズを知っていますか。「イマジン」をどう思いますか。

●ぼくの年齢の者は、ビートルズ世代です。ビートルズを聴きながら青春を過ごし、大人になり今にいたっています。その中心メンバーだったジョン・レノンが、ニューヨークで銃弾に倒れた日が1980年12月8日です。

●20世紀から21世紀へと時代が進んだ時、だれもが「平和な世紀になってほしい」と願いました。でも現実の世界は、その逆の方向に進んでいるように思えます。パレスチナで、チェチェンで、アフガニスタンで、そしてイラクで殺し合いは続いています。でも、ジョン・レノンの夢を忘れてはだめだと思います。

●1941年（昭和16年）12月8日に、日本は太平洋戦争を始めました。ハワイの真珠湾（パールハーバー）でアメリカ軍と、マレー半島沖でイギリス軍と戦闘を始めたのでした。以後、終戦（1945年8月15日）まで、アジアだけで2000万人以上が犠牲になりました。

●日本は、中国、韓国はじめアジアの人々に多くの犠牲と悲しみなどを与えました。その反省から平和憲法を定め、二度と戦争をしないことを誓いました。自衛隊が戦争地域へ行くこともありませんでした。武力を二度と使わない、二度と戦争をしないと誓った国にふさわしい方法で、今も、これからも世界の平和に役立っていく国でなければならないと思います。偶然にも12月8日に死んだジョン・レノンの詩を読み、人類が仲良くなることを強く願いました。

◆沖縄の米軍基地移転問題、集団的自衛権、憲法9条問題、尖閣諸島・竹島や北方四島の領土問題も長年続いている。最近では、中国の南シナ海進出も懸念されている。これらの問題には、様々な意見があり考え方もある。

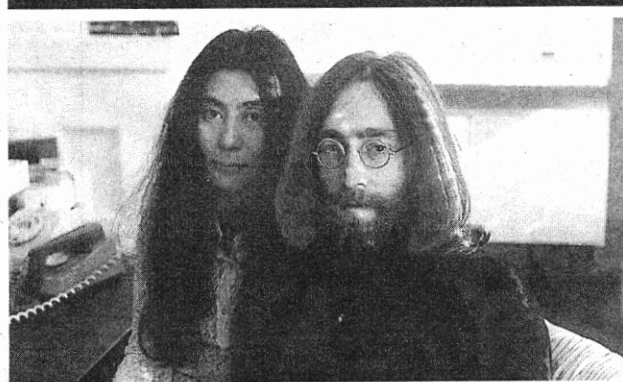
◆また、世界各地では、いまだに「テロ行為」が続発したり、内戦や国家間紛争が絶えない。防衛とは？、平和とは？、軍隊とは？・・・死後41年経った今も、ジョン＝レノンの願いは、まったく天に届いていない。

◆期末テストも終わった！来年の進路決定を踏まえて、今年の総決算をしなければね。そして、話がダゲさかもしれないが、今の「学習」が、将来の君を作り上げ、国家の一員として社会を支え、社会に貢献できる「生きた力」にならなければね。
 だから、地道な努力を！学習を！

最後に12月10日の週は『人権週間』です。
 1948（昭和23）年12月10日、国際連合総会において『世界人権宣言』が採択されました。



ジョン・レノン射殺40年 ファンら追悼



「イマジン」の文字があらわれた碑の上に置かれたレノンの遺影や追悼の花。米ニューヨークで8日、偶俊之撮影。左前のジョン・レノンさん（右）とオノ・ヨーコさん。ロンドンの事務室で

平和と愛「イマジン」今も

ビートルズの元メンバー
ジョン・レノンさん(当

時40歳)が米ニューヨークで射殺されてから、8日で40年となった。現場近くの記念広場「ストロベリー・フィールズ」には多くのファンが集まった。人々はギターやドラムを持ち込んだミュージシャンの演奏に合わせてビートルズの曲を口ずさみ、花を手向けた。レノンさんは1980年12月8日夜、自宅マンション「ダコタハウス」の玄関

で待ち受けていた男に銃で撃たれ亡くなった。その向かいにあるセントラルパークの記念広場では8日、代表曲「イマジン」の文字があらわされた円形の碑の上に、レノンさんの遺影や花が置かれ、人々は思い思いに追悼した。今年

2020年12月9日(水) 毎日新聞 夕刊より

●1月1日から12月31日の間で、その日が「何の日？」なのかを知っておいてほしい日があります。12月8日と10日も、そんな日です。過去のことについて、一日もはやく忘れてしまいたい過去があります。その一方で、絶対に忘れてならない過去があります。忘れずに、しっかり反省して、そこから何がいけなかったのかといった教訓を導き出してこそ、これからの将来(未来)を正しく進むことができます。

●12月8日は、1941(昭和16)年に日本が太平洋戦争を始めた日です。それまでの中国侵略に加え、アジア太平洋地域に戦争を拡大したのです。数え切れないほどの命が消えていきました。

●某日(日)の夜、テレビで「戦場のピアニスト」という映画を放送していました。ドイツによるユダヤ民族迫害が、どのように行われたのか、リアルに描いた作品でした。それを見ながら、戦争で必ずおこる強い国家(民族)による弱い国家(民族)に対する支配、そして蛮行、残虐な行為、非人間性について、考えさせられました。かつての日本もまた、中国、朝鮮等の人々に対し、多大な被害を与え、多くの人々の命をうばい、人生を狂わせたことがあったことを忘れてはいけなかったと思います。

●2004年12月9日(木)には、日本に一時帰国していた中国残留日本人孤児の人達が、肉

ガブリエラ・パラさん(20)は「ジョンの平和と愛のメッセージ、つまり誰かを思いやり、共感することの大切さはどんな時にも当てはまるものだと思う。今年には特に意味があるけれど、それはいつの時代にも通じるものだ」と話した。レノンの妻オノ・ヨーコさんは8日、ツイッター

にメッセージを投稿し、「想像してごらん みんなが平和に暮らしているのを」とイマジンの一節を引いた。レノンの血が付いた眼鏡の写真とともに、レノンの射殺事件後も多くの命が銃で奪われているとして、銃による暴力をなくすよう訴えた。【ニューヨーク偶俊之】

親探しの旅を終え、中国に帰国したとのニュースがありました。戦争末期に、中国に残され、長い間事実上放置された人達。まぎれもなく戦争の犠牲者です。今も多くの日本人孤児が、中国で生活しています。とりわけ、肉親が見つからない人達にとっては、戦争は「終わっていない」と言えるでしょう。

●人権侵害には、いろんな例がありますが、その最大のものは、戦争だと思います。戦争をする人は、個人ではありません。戦争をするのは国家(政府)です。国家(政府)が、戦争を引き起こし、国民の人権を奪うことは、二度とあってはなりません。

●全世界で6000万人以上、アジアで2000万人以上の命とひきかえに、第2次世界大戦は終わりました。日本は2度と戦争をしないことを誓い、平和と民主主義、人権尊重を柱にした日本国憲法を定め、今日にいたっています。とりわけ憲法第9条で「戦争をしない、武力を使わない、戦力を持たない」という画期的な内容の平和主義をかかげています。

●残念なことに戦後の世界では、戦争や紛争がなくなりませんでした。朝鮮戦争、ベトナム戦争、数多くの国際紛争がおり、現在もパレスチナ、イラクで戦闘が続いています。そのイラクには日本の自衛隊が派遣されています。こうしたことは戦後初めてのことです。

●12月8日の他に8月15日、8月6日、8月9日を忘れないこと。7月7日は1937年に日中戦争が始まった日として記憶にとどめられるべき日です。5月3日は「憲法記念日」として憲法の大切さを再確認する日です。忘れてほしくない日は、いっぱいあります。

●1948(昭和23)年12月10日、国際連合総会において『世界人権宣言』が採択されました。戦争は、人権についての無知とあなどりから起こるものであり、人権が守られる世界をつくるのが大切との考えにもとづいて採択されました。

●そこで、12月10日の週を『人権週間』とし、人権が保障される世界(日本)をつくり、人権の大切さを考えることを呼びかけています。人権の大切さを否定する人はいません。過去と比べ、人権がとても大切にされる世界(日本)になってきたことは事実です。社会は着実に前進していることは、間違いありません。

●しかし、その一方で、まだまだ人権が踏みにじられていることが多くあります。自分たちの身のまわりにもあるし、世界(日本)にも多くあります。どんなことがあるか、一度しっかり考えてみて下さい。

●今、世界では、人権の保障を各国まかせにはしないで、国際的な基準をつくって、各国がそのレベルに達する取り組みを強めています。世界で人権保障に取り組む時代になっているのです。でも、まだまだな現状も多くあります。飢餓に苦しむ、学校に行くことができず働いている(しかも低賃金、長時間労働)、家がないストリートチルドレンなど、そんな苦しみの中で生きている子どもが5億人いると言われています。最大の原因は“貧困”です。

●北朝鮮による拉致問題も深刻で重要な人権問題です。地球温暖化によってインド洋や太平洋の島国の何カ国では、国そのものが沈んでしまう危機が迫っています。環境問題もまた、人権とつながっています。

●自由と平等、幸福追求を土台に、人権獲得の歴史は広がりを見せました。そして今、身近なことや日本社会にまだある人権軽視、人権を踏みにじる状況はもちろん、世界にも目をしっかりと向けることができ、人権の保障と人権の大切さを考え、実行できる人間に成長してほしいと思うと同時に「21世紀こそ平和の世紀であってほしい。」21世紀を生きているみんなが、今以上に、平和を愛する人間としても成長して欲しいと願う今日このごろです。 <苫広先生 記>